



2025年度 第3回 東浦町水道事業及び下水道事業審議会

～水道料金の適正化～

2026年1月14日（水）18時～
東浦町役場 合同委員会室

目次

- 01 前回の振り返り
- 02 料金体系の設定
- 03 料金表の確定
- 04 答申(案)について

01

前回の振り返り

01 前回の振り返り

03 水道料金水準の算定 不足額の算定(例：資産維持率1%の場合)



支出
28億1,684万円



収入
28億1,684万円

不足分を賄うには
水道料金収入を
約25%上げる必
要がある

03 水道料金水準の算定 3年間の運営に係る費用の割合 (資産維持率1%の場合)



➤ 耐震化や施設の更新を進めながら、水道事業を運営するには多額の費用が必要であり、それらを水道料金で賄うとともに、**資産を維持するために固定的にかかる費用**を含めることで安定的な経営が可能となる。

01 前回の振り返り

04 まとめ

(現行料金)

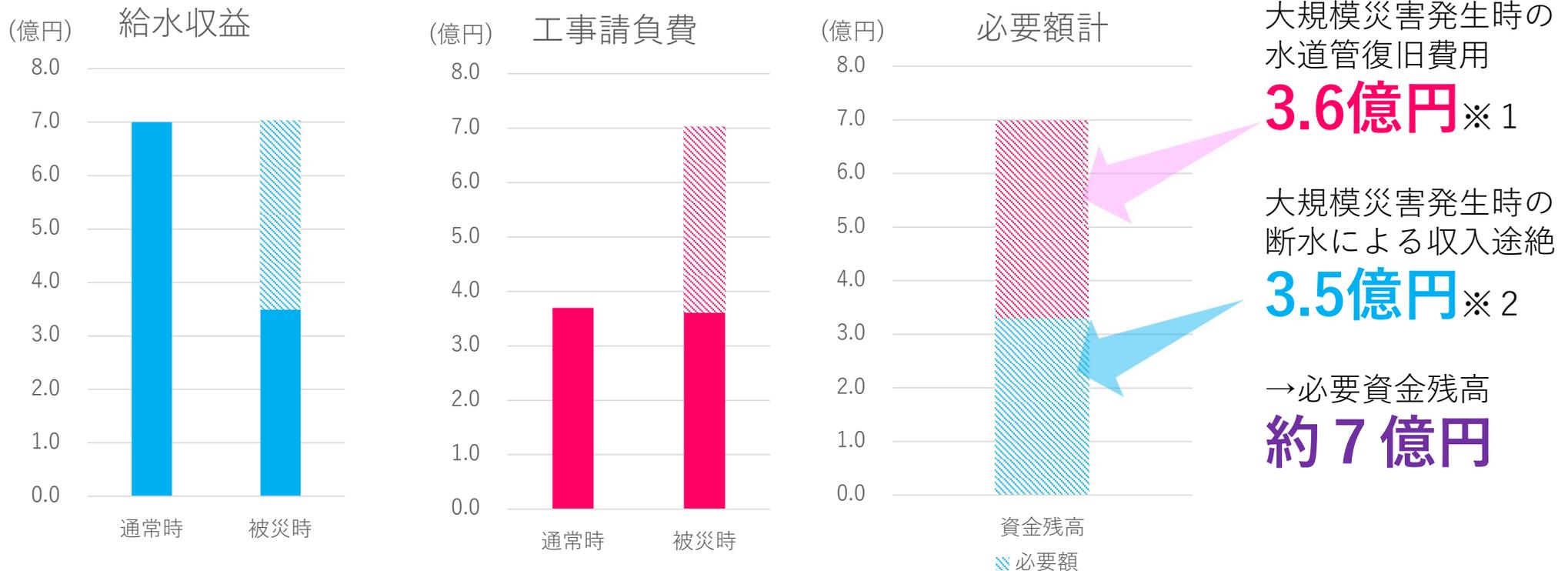
	案①	案②	案③	案④	案⑤	案⑥
改定率	0.00%	16.99%	20.76%	24.52%	32.05%	39.58%
資産維持率	—	0%	0.5%	1%	2%	3%
家庭への影響額*	±0円/月	+380円/月	+470円/月	+550円/月	+720円/月	+890円/月
	2026年4月～下水道使用料 +600円/月					
考察	・老朽管更新、耐震化が減速 ・3年以内に収益確保を要検討	・老朽管更新、耐震化を減速	・老朽管更新、耐震化の目標値を達成する水準 ・第2配水場整備費が不足	・老朽管更新、耐震化を加速 ・2035年までの安定経営を維持	・一定の内部留保が可能 ・老朽管更新、耐震化を加速	・十分な内部留保が可能 ・老朽管更新、耐震化を加速
経営戦略の目標値	(収支) ×	○	○	○	○	○
	(資金残高) ×	×	×	○	○	○
経営の安定性						

※家庭用口径で1ヶ月20㎡使用した場合 (2,250円(税抜)×改定率)

東浦町水道事業 39

01 資金残高 7 億円の内訳

資金残高目標値は、大規模災害が発生した場合でも水道水を供給するための施設を維持するために必要な水準とする。



※1 3.6億円の根拠：熊本地震における上水道の被害額39.8億円をもとに東浦町人口規模に応じて試算した。

※2 3.5億円の根拠：東日本大震災では90%通水するのに約3週間要し、最長断水期間は7か月要した。毎月の支出に約5,000万円～2億円要するため、被災時に当面の現金を確保する必要がある。

02

料金体系の設定

02 料金体系の設定

■料金算定は次の手順で行う。

財政計画の策定

- ・給水収益の予測
- ・今後の収支見通し

料金水準の算定

- ・総括原価の算定
- ・資産維持費の算入

今回の内容

料金体系の設定

- ・料金体系の選択
- ・原価の分解、配賦

料金表の確定

- ・各種検討事項の説明
- ・料金表案のパターン提示

水道料金改定業務の手引き

平成29年3月

公益社団法人 日本水道協会

水道料金改定業務の手引き
「日本水道協会」

02 料金体系の設定 料金体系の選択

【水道料金の構成】 東浦町の水道料金は、「基本料金」と「水量料金」による2部料金制を採用している。



(税抜/月)		(税抜単価/m ³)	
口径	基本料金 現行(円)	水量区分	単価 (円)
13mm	390	1~10m ³	60
20mm	390	11~20m ³	126
25mm	1,800	21~30m ³	163
40mm	5,500	31~50m ³	192
50mm	8,200	51m ³ ~	221
75mm	20,500	臨時給水 装置	282
100mm	35,000		
125mm	52,900		
150mm	73,500		
200mm	104,400		

基本料金は口径別に設定

水量料金は、使用水量が増えると料金単価が高くなる逦増型を採用

【2部料金制の特徴】

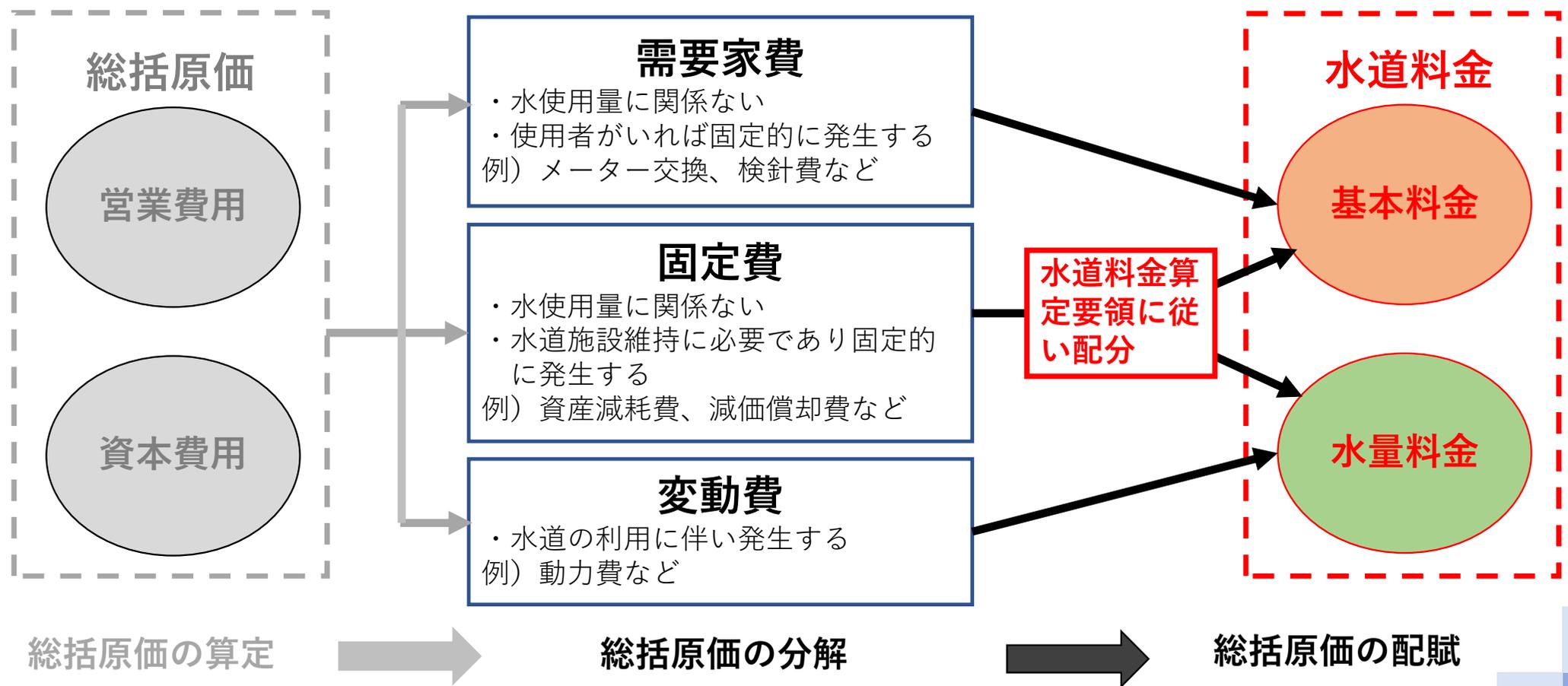
- ・基本料金により固定的な費用を回収することで経営が安定する。
- ・逦増型とすることで施設の負荷に対する公平性を保つことができる。



【方針】 現行の2部料金制を継承する

02 料金体系の設定 総括原価の分解と配賦

➤ 水道料金は、総括原価を算定、分解、配賦することで算定されます。



02 料金体系の設定

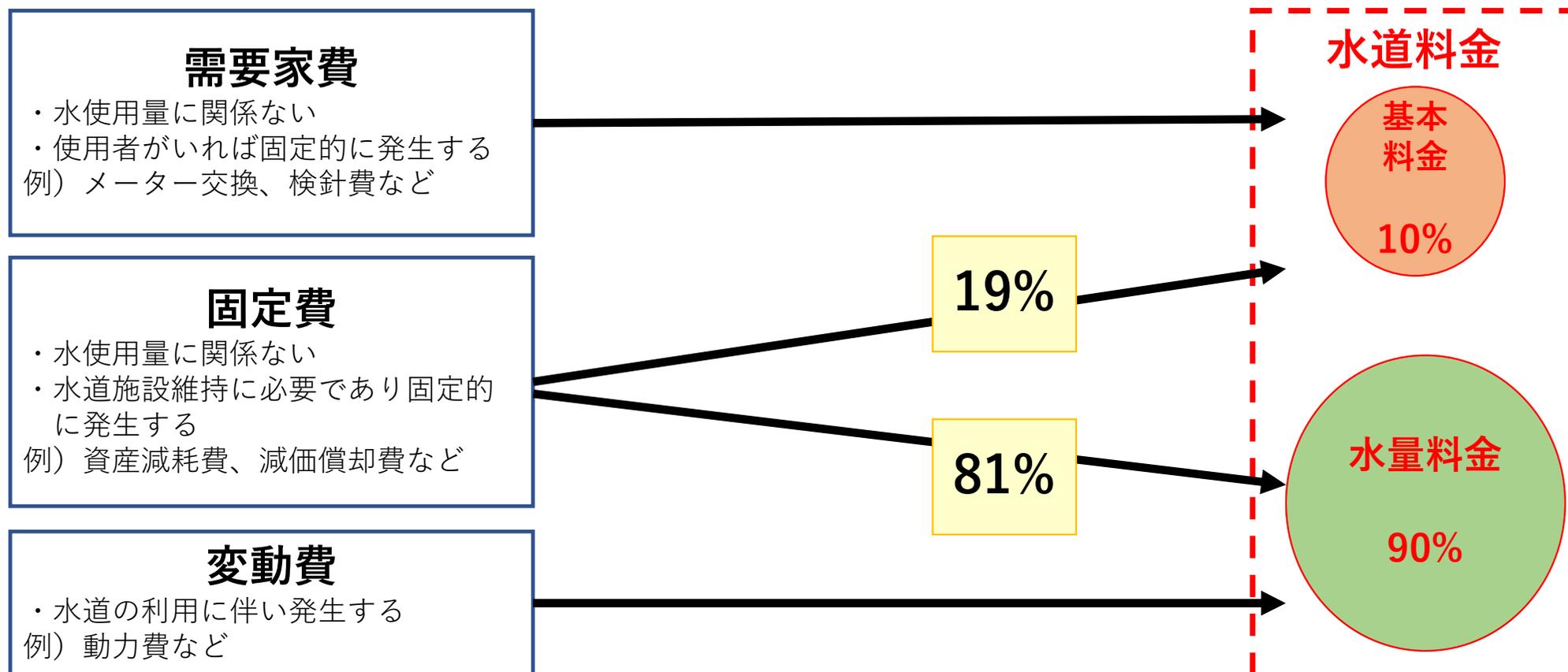
固定費配分の基準

水道料金算定要領では、以下のとおり固定費の配分基準が4つ示されている。

固定費配分率

	固定費配分方法	準備料金の配分割合	水量料金の配分割合	準備料金	水量料金
(a)	固定費総額に対して、最大給水量に対する最大給水量と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を準備料金とし残余の固定費を水量料金とする方法	$\frac{(\text{最大給水量}-\text{平均給水量})}{\text{最大給水量}}$	$\frac{\text{平均給水量}}{\text{最大給水量}}$	10.5%	89.5%
(b)	固定費総額に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と平均給水量の差の比率を乗じて得た額を準備料金とし残余の固定費を水量料金とする方法	$\frac{(\text{施設能力}-\text{平均給水量})}{\text{施設能力}}$	$\frac{\text{平均給水量}}{\text{施設能力}}$	—	—
(c)	固定費総額に対して、浄水施設能力に対する浄水施設能力と最大給水量の差の比率を乗じて得た額を準備料金とし残余の固定費を水量料金とする方法	$\frac{(\text{施設能力}-\text{最大給水量})}{\text{施設能力}}$	$\frac{\text{平均給水量}}{\text{施設能力}}$	—	—
(d)	固定費総額のうち、配給水部門費を準備料金とし他は水量料金とする方法	$\frac{\text{配給水部門費の固定費}}{\text{固定費総額}}$	$\frac{\text{配給水部門費以外の固定費}}{\text{固定費総額}}$	79.2%	20.8%

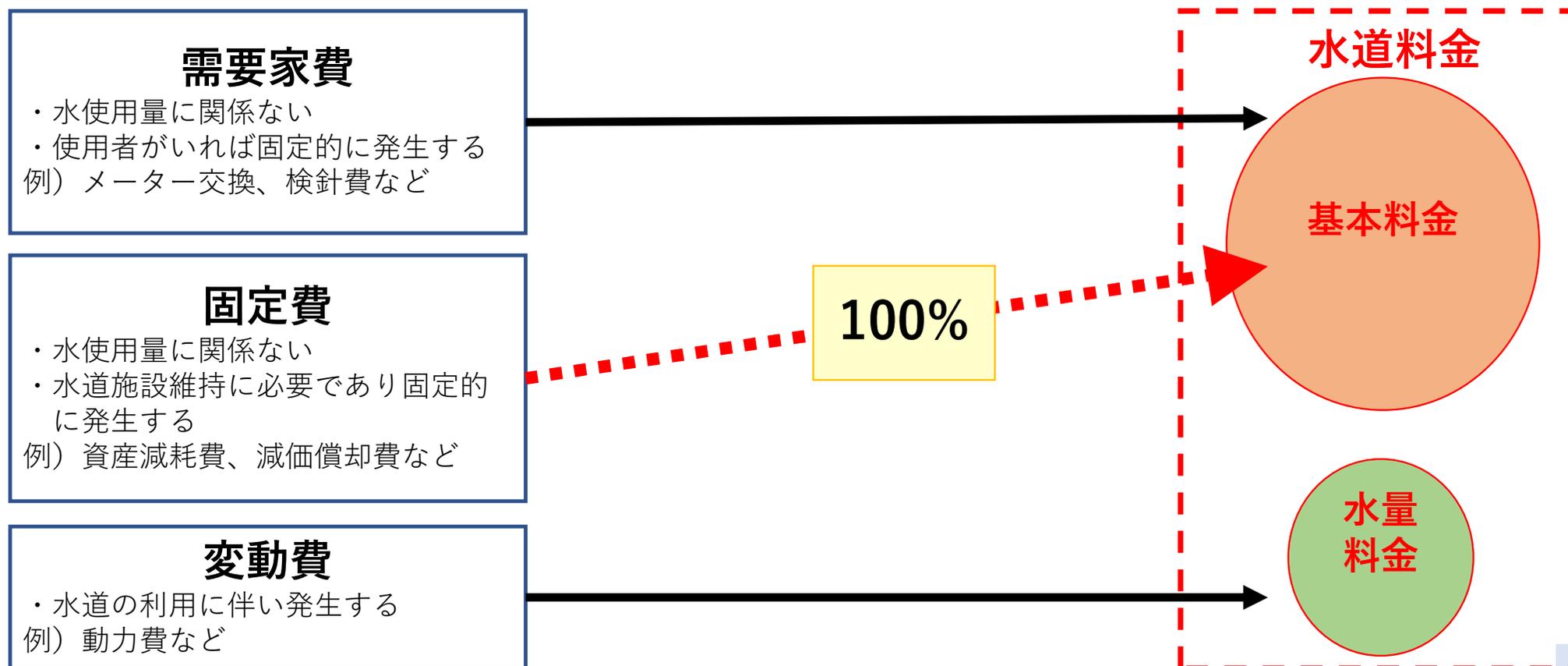
- (a) ...時期や使用者による使用量のばらつきが小さい
- (b)及び(c) ...浄水施設を有していない
- (d) ...水道供給を直接的に担う費用を算入するもの



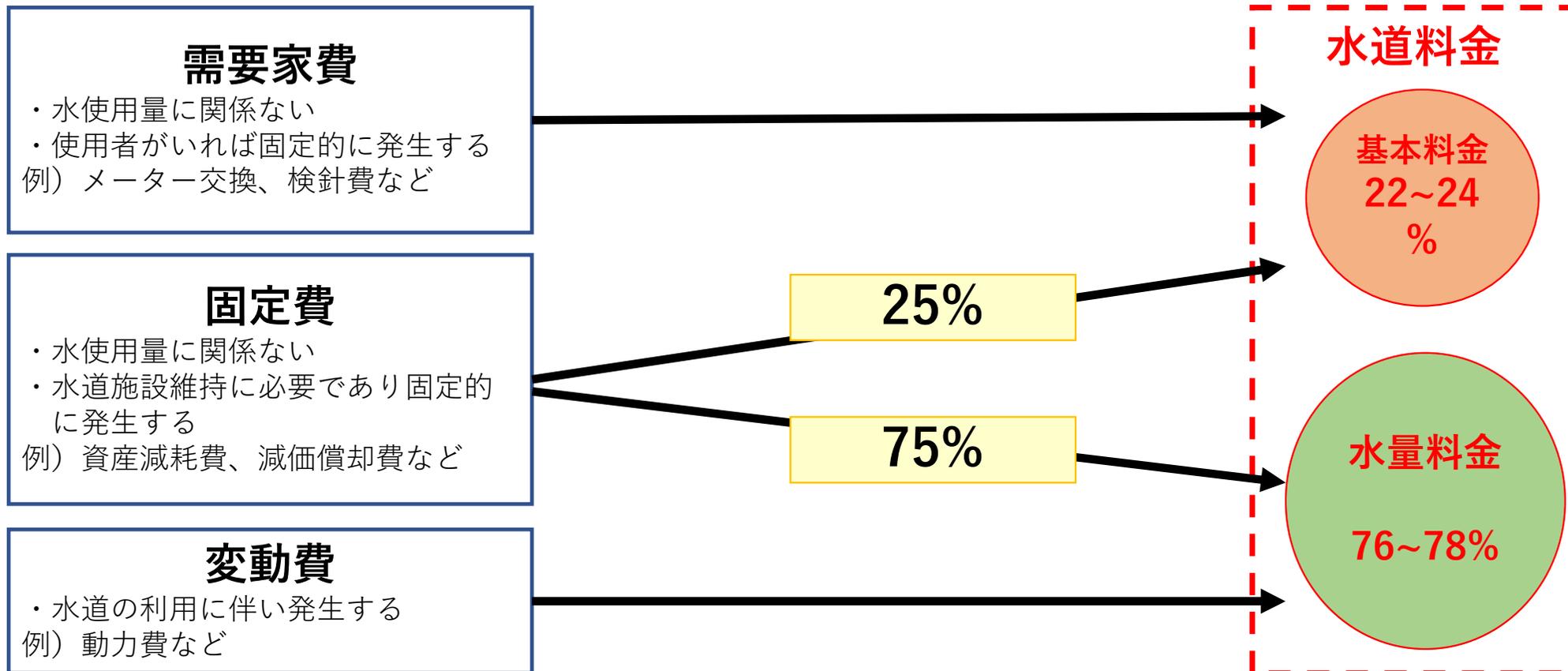
※前回料金改定時の算定による（1997年(平成9年)4月1日改定）

02 料金体系の設定 固定費の配分

水道施設を維持していくための固定的な経費(固定費)が大部分を占める水道事業の性質上、固定費を全額基本料金(準備料金)へ割り振ると水道料金が著しく高くなってしまふ。

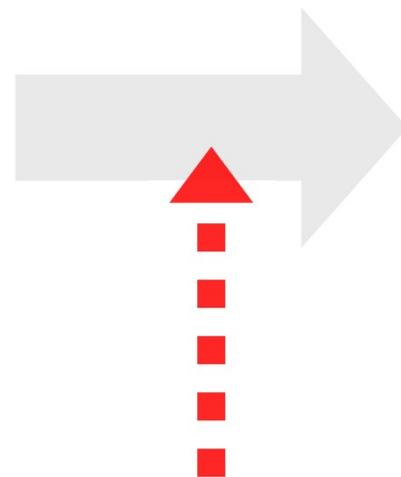


02 料金体系の設定 固定費配分割合



【方針】 固定費の基本料金への配分割合を上げ、経営の安定化を図る。

【2024年度決算値】
基本料金分 **17** %



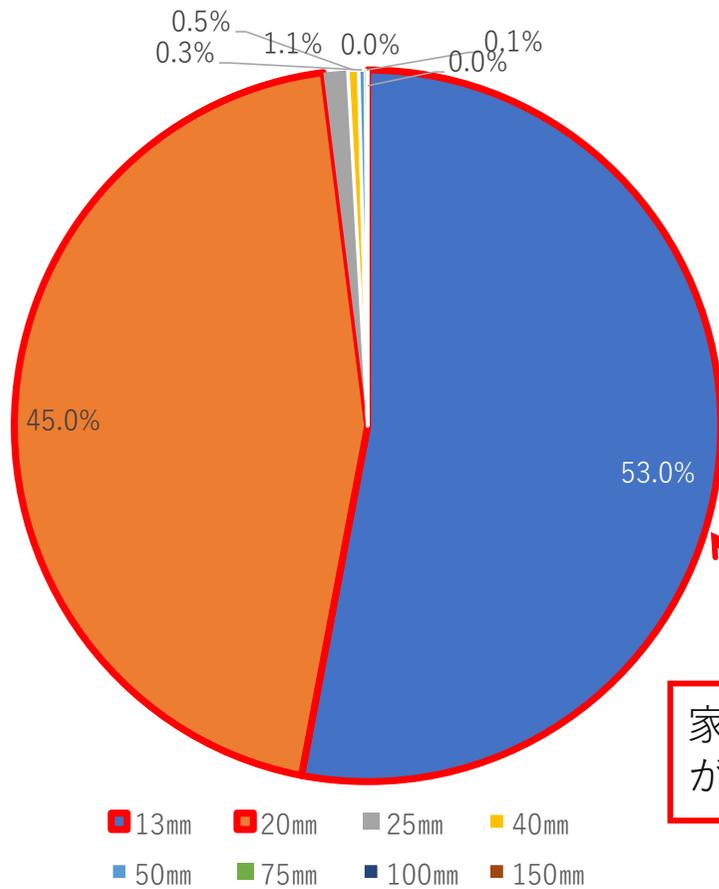
【目標】
基本料金分 **100** %

【今回の改定】
基本料金分 **21～24** %

02 料金体系の設定

現行料金体系の特徴

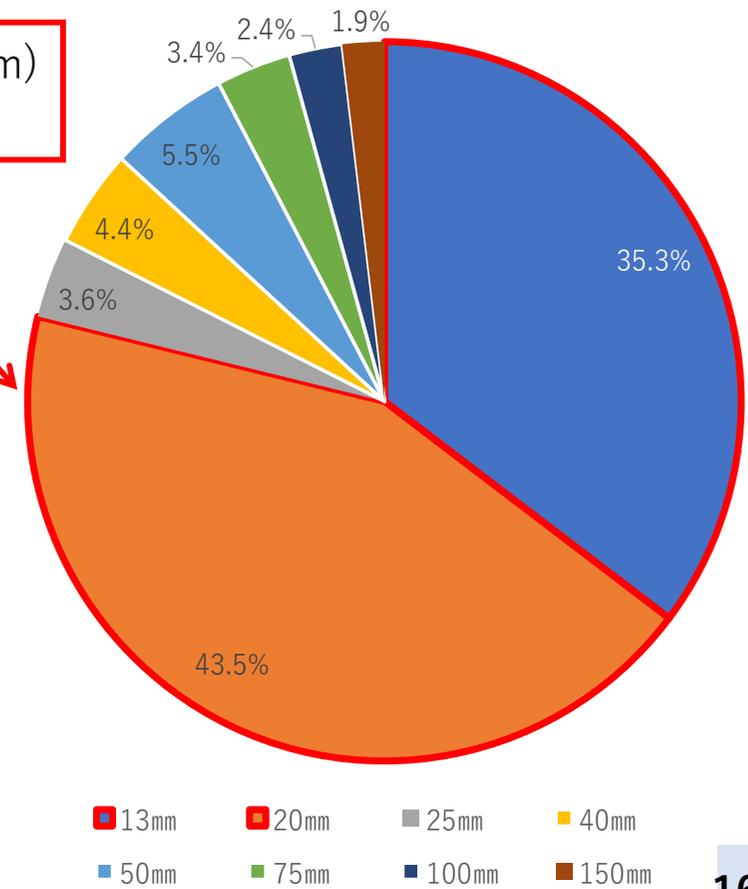
給水戸数割合【口径別】



家庭用口径(13,20mm)
が79%を占める

家庭用口径(13,20mm)
が98%を占める

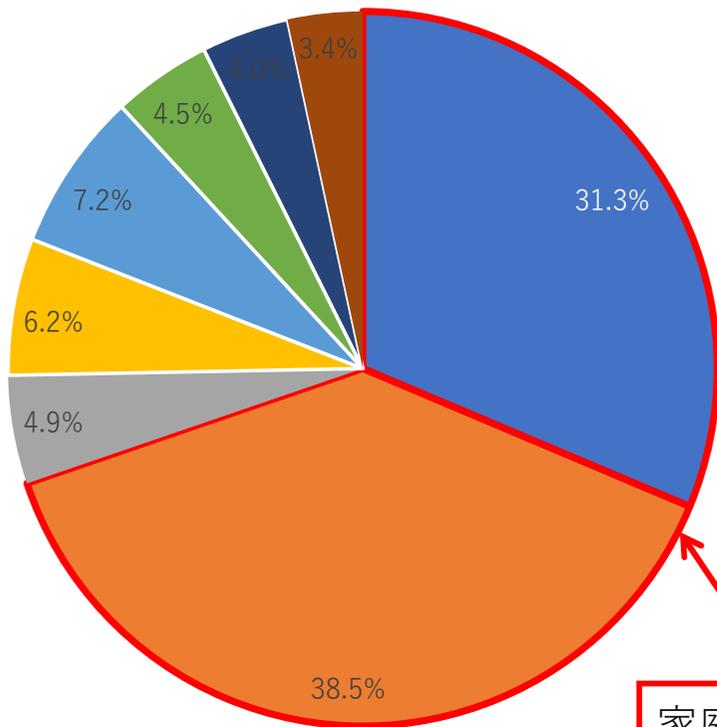
給水量割合【口径別】



02 料金体系の設定

現行料金体系の特徴

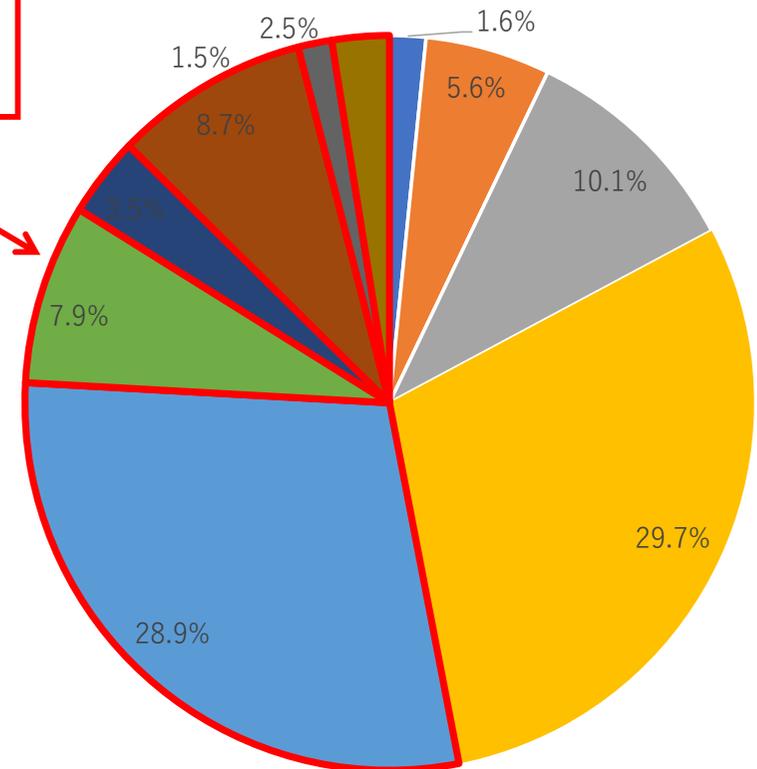
給水収益割合【口径別】



■ 13mm ■ 20mm ■ 25mm ■ 40mm
■ 50mm ■ 75mm ■ 100mm ■ 150mm

家庭用口径(13,20mm)
が70%を占める

使用水量割合【水量区分別】



■ 1~10m³ ■ 11~20m³ ■ 21~30m³
■ 31~50m³ ■ 51~100m³ ■ 101~500m³
■ 501~1,000m³ ■ 1,001~5,000m³ ■ 5,001~10,000m³
■ 10,000m³以上

51m³以上の使用が
53%を占める。

逡増度とは...

水量料金の最高単価が最低単価の何倍になっているかを示す指標
(使用水量が多いほど負担度が高い)

→近年の節水設備の普及や給水量の減少などの背景、本来どれだけ水を使おうとも単価は均一であるべきとの考え方から、原則逡増度1.0が求められる。

【方針】 逡増度1.0を目指すが、低廉な価格の維持を保ちつつ検討する

【現行料金】

逡増度 **3.7**



【目標】

逡増度 **1.0**

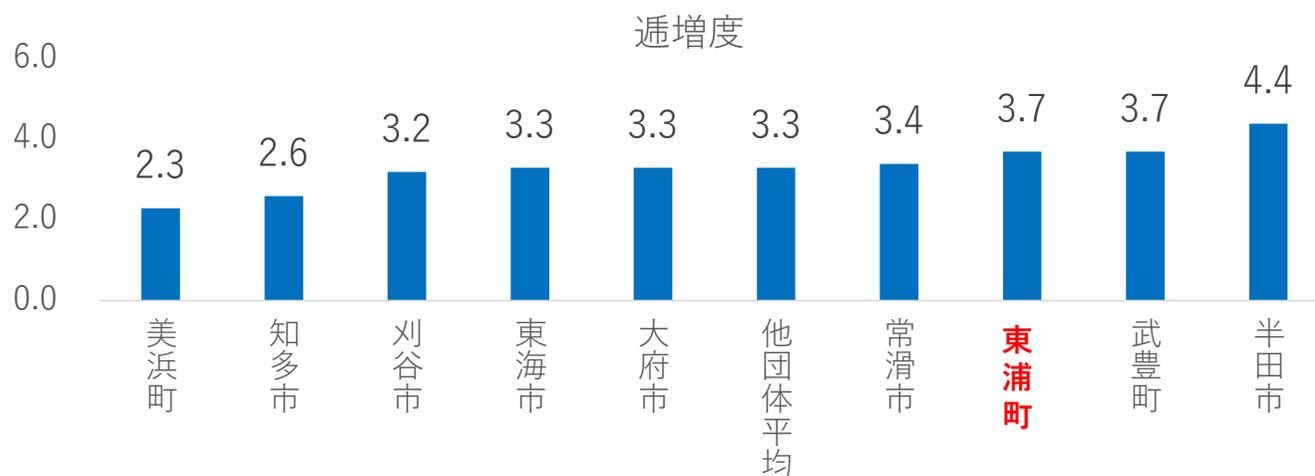
02 料金体系の設定

現行料金体系の特徴

■他団体比較 逡増度(水量料金単価の最小値と最大値の差の度合い) 円(税抜)

項目	東浦町	他団体平均	東海市 (予定)	大府市 (予定)	知多市 (予定)	半田市 (予定)	常滑市 (予定)	武豊町	美浜町 (予定)	刈谷市 (予定)
最低水量料金	60.0	71.1	65.0	85.0	77.0	50.0	75.0	50.0	100.0	67.0
最高水量料金	221.0	225.0	217.0	280.0	202.0	220.0	252.0	185.0	230.0	214.0
逡増度	3.7	3.3	3.3	3.3	2.6	4.4	3.4	3.7	2.3	3.2

※阿久比町、南知多町については、料金体系が異なるため比較から除いている。



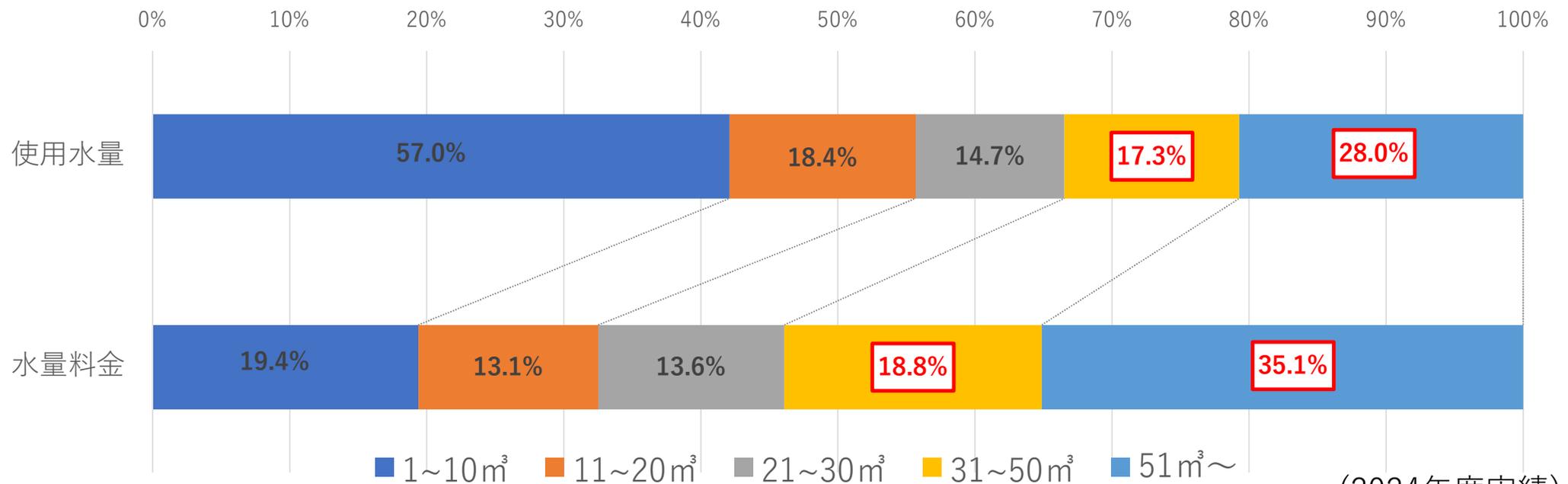
東浦町の逡増度は、他団体平均より**0.4高い値**

02 料金体系の設定

逦増度緩和の必要性

単価の高い区分は、水量の割合に対し、料金の割合が多い
→収益全体の負担割合が大きい

使用水量割合と水量料金割合の比較【水量区分別】



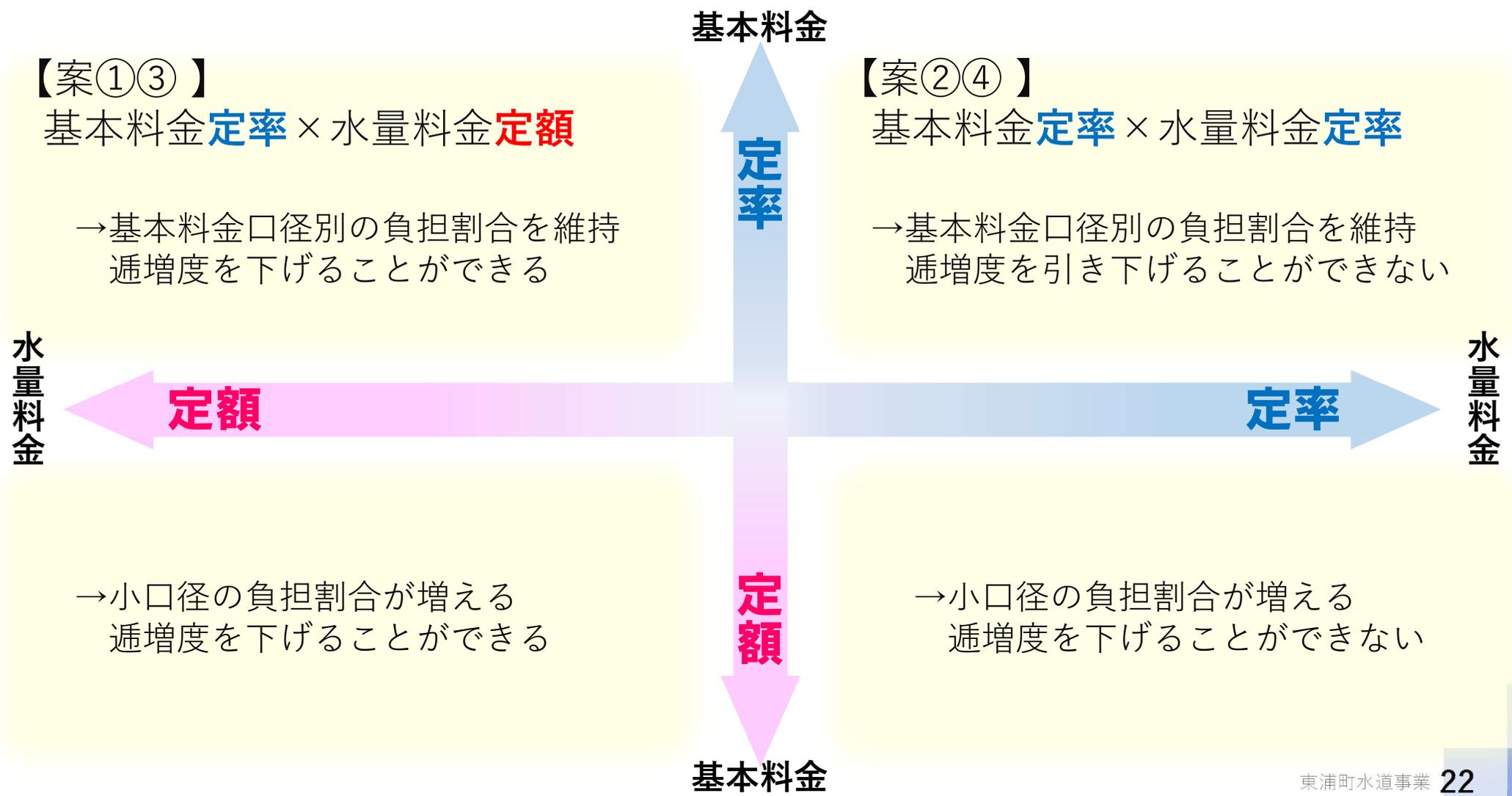
(2024年度実績)

03

料金表の確定

03 新料金体系案について

基本料金、水量料金の設定



03 料金表の確定

新料金表【案①】

基本料金 定率80%増 × 水量料金 定額19円増

(1ヶ月あたり・税抜)

定率	基本料金				
口径区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.80)
13mm	390	700	310	79%	702
20mm	390	700	310	79%	702
25mm	1,800	3,250	1,450	81%	3,240
40mm	5,500	9,900	4,400	80%	9,900
50mm	8,200	14,800	6,600	80%	14,760
75mm	20,500	36,900	16,400	80%	36,900
100mm	35,000	63,000	28,000	80%	63,000
125mm	52,900	95,200	42,300	80%	95,220
150mm	73,500	132,300	58,800	80%	132,300
200mm	104,400	187,900	83,500	80%	187,920

(1ヶ月あたり 1 m³につき・税抜)

定額	水量料金				
水量区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	逓増度
1~10m ³	60	79	19	32%	3.7 ↓ 3.0
11~20m ³	126	145	19	15%	
21~30m ³	163	182	19	12%	
31~50m ³	192	211	19	10%	
51~ m ³	221	240	19	9%	
臨時給水	282	301	19	7%	

○平均改定率 : 26.78%

○基本料金割合 : 23.5%

○逓増度 : 3.0

03 料金表の確定

新料金表【案②】

基本料金 定率80%増 × 水量料金 定率16%増

(1ヶ月あたり・税抜)

定率	基本料金				
口径区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.80)
13mm	390	700	310	79%	702
20mm	390	700	310	79%	702
25mm	1,800	3,250	1,450	81%	3,240
40mm	5,500	9,900	4,400	80%	9,900
50mm	8,200	14,800	6,600	80%	14,760
75mm	20,500	36,900	16,400	80%	36,900
100mm	35,000	63,000	28,000	80%	63,000
125mm	52,900	95,200	42,300	80%	95,220
150mm	73,500	132,300	58,800	80%	132,300
200mm	104,400	187,900	83,500	80%	187,920

(1ヶ月あたり 1 m³につき・税抜)

定率	水量料金				
水量区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.16)
1~10m ³	60	70	10	17%	69.6
11~20m ³	126	146	20	16%	146.2
21~30m ³	163	189	26	16%	189.1
31~50m ³	192	223	31	16%	222.7
51~ m ³	221	256	35	16%	256.4
臨時給水	282	327	45	16%	327.1

- 平均改定率 : 26.78%
- 基本料金割合 : 23.5%
- 逡増度 : 3.7

03 料金表の確定

新料金表【案③】

基本料金 定率66%増 × **水量料金 定額22円増**

(1ヶ月あたり・税抜)

(1ヶ月あたり 1 m³につき・税抜)

定率	基本料金				
口径区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.66)
13mm	390	650	260	67%	647
20mm	390	650	260	67%	647
25mm	1,800	3,000	1,200	67%	2,988
40mm	5,500	9,100	3,600	65%	9,130
50mm	8,200	13,600	5,400	66%	13,612
75mm	20,500	34,000	13,500	66%	34,030
100mm	35,000	58,100	23,100	66%	58,100
125mm	52,900	87,800	34,900	66%	87,814
150mm	73,500	122,000	48,500	66%	122,010
200mm	104,400	173,300	68,900	66%	173,304

定額	水量料金				
水量区分	現行料金	新料金	増加額	増加率	逓増度
1~10m ³	60	82	22	37%	3.7 ↓ 3.0
11~20m ³	126	148	22	17%	
21~30m ³	163	185	22	13%	
31~50m ³	192	214	22	11%	
51~ m ³	221	243	22	10%	
臨時給水	282	304	22	8%	

○平均改定率 : 26.78%

○基本料金割合 : 21.9%

○逓増度 : 3.0

03 料金表の確定

新料金表【案④】

基本料金 定率66%増 × 水量料金 定率19%増

(1ヶ月あたり・税抜)

口径区分	基本料金				
	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.66)
13mm	390	650	260	67%	647
20mm	390	650	260	67%	647
25mm	1,800	3,000	1,200	67%	2,988
40mm	5,500	9,100	3,600	65%	9,130
50mm	8,200	13,600	5,400	66%	13,612
75mm	20,500	34,000	13,500	66%	34,030
100mm	35,000	58,100	23,100	66%	58,100
125mm	52,900	87,800	34,900	66%	87,814
150mm	73,500	122,000	48,500	66%	122,010
200mm	104,400	173,300	68,900	66%	173,304

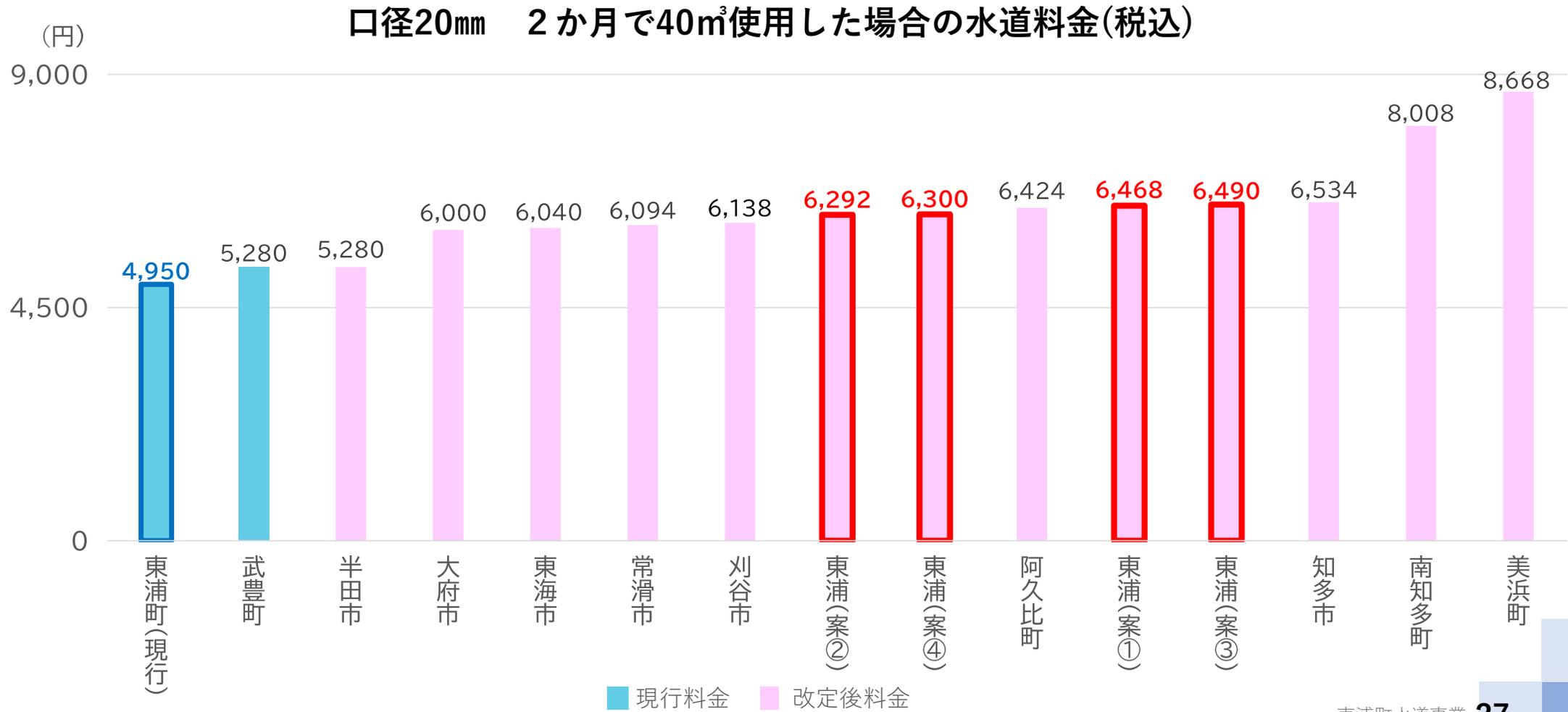
(1ヶ月あたり 1 m³につき・税抜)

水量区分	水量料金				
	現行料金	新料金	増加額	増加率	参考(現行 ×1.19)
1~10m ³	60	71	11	18%	71.4
11~20m ³	126	149	23	18%	149.9
21~30m ³	163	194	31	19%	194.0
31~50m ³	192	229	37	19%	228.5
51~ m ³	221	263	42	19%	263.0
臨時給水	282	336	51	18%	335.6

- 平均改定率 : 26.78%
- 基本料金割合 : 21.8%
- 逡増度 : 3.7

03 料金表の確定

周辺事業者との比較



03 料金表の確定

モデル水量における影響

■世帯別のモデル水量における影響

(20mm口径・1か月・税込)

世帯人数 (モデル水量)	現行	新料金【案①】		新料金【案②】		新料金【案③】		新料金【案④】	
	水道料金	水道料金	増加額	水道料金	増加額	水道料金	増加額	水道料金	増加額
1人(8m ³)	957円	1,465円	+508円	1,386円	+429円	1,436円	+479円	1,333円	+376円
2人(16m ³)	1,920円	2,596円	+676円	2,503円	+583円	2,593円	+673円	2,479円	+559円
3人(20m ³)	2,475円	3,234円	+759円	3,146円	+671円	3,245円	+770円	3,150円	+660円
4人(24m ³)	3,192円	4,034円	+842円	3,977円	+785円	4,059円	+867円	3,988円	+796円
5人(28m ³)	3,909円	4,835円	+926円	4,809円	+900円	4,873円	964円	4,842円	+923円

04

答申(案)について